

修訂日期 2006/04/12 発行日期 2007/3/7 発行単位 中華電子

大典協會 (CBETA) <http://www.cbeta.org> 資料底本 大正新修

大正藏經 Vol. 14 No. 452 原始資料 蕭鎮国大德提供 維習安大

德提供之高麗藏 CD 經文 北美某大德提供 No. 452

仏説観弥勒菩薩上生兜率天経宋居士沮渠京声訳

如是我聞 一時仏在舍衛国祇樹給孤独園 爾時世尊於初夜分拏

身放光 其光金色 遶祇陀園周遍七匝 照須達舍亦作金色 有金

色光猶如段雲 遍舍衛国处处皆雨金色蓮華 其光明中 有無量百

千諸大化仏 皆唱是言 今於此中有千菩薩 最初成仏名拘留孫

最後成仏名曰楼至 説是語已 尊者阿若憍陳如即從禪起 与其眷

属二百五十人俱 尊者摩訶迦葉 与其眷属二百五十人俱 尊者大

目犍連 与其眷属二百五十人俱 尊者舍利弗 与其眷属二百五十

人俱 摩訶波闍波提比丘尼 与其眷属千比丘尼俱 須達長者与三

千優婆塞俱 毘舍佉母与二千優婆夷俱 復有菩薩摩訶薩 名跋陀

婆羅 与其眷属十六菩薩俱 文殊師利法王子 与其眷属五百菩薩

俱 天龍夜叉乾闥婆等一切大衆 覩仏光明皆悉雲集 爾時世尊出

広長舌相放千光明 一一光明各有千色 一一色中有無量化仏 是

諸化仏異口同音 皆説清浄諸大菩薩甚深不可思議諸陀羅尼法 所

謂阿難陀目佉陀羅尼 空慧陀羅尼 無礙性陀羅尼 大解脱無相陀羅

尼 爾時世尊以一音声 説百億陀羅尼門 説此陀羅尼已 爾时会

中有一菩薩名曰弥勒 聞仏所説 応時即得百万億陀羅尼門 即從

座起整衣服 叉手合掌住立仏前

爾時優波離亦從座起 頭面作礼而白仏言 世尊 世尊往昔於毘

尼中及諸経蔵説阿逸多次当作仏 此阿逸多具凡夫身未断諸漏 此

人命終当生何処 其人今者雖復出家 不修禪定不断煩惱 仏記此人成仏無疑 此人命終生何国土 仏告優波離 諦聽諦聽善思念之 如来応正遍知 今於此衆説弥勒菩薩摩訶薩阿耨多羅三藐三菩提記 此人從今十二年後命終 必得往生兜率陀天上 爾時兜率陀天上 有五百萬億天子 一天子皆修甚深檀波羅蜜 為供養一生補処菩薩故 以天福力造作宮殿 各各脱身栴檀摩尼宝冠 長跪合掌発是願言 我今持此無価宝珠及以天冠 為供養大心衆生故 此人來世不久当成阿耨多羅三藐三菩提 我於彼仏莊嚴国界得受記者 令我宝冠化成供具 如是諸天子等各各長跪 発弘誓願亦復如是 時諸天子作是願已 是諸宝冠化作五百萬億宝宮 一宝宮有七重垣 一垣七宝所成 一宝出五百億光明 一光明中有五百億蓮華 一蓮華化作五百億七宝行樹 一樹葉有五百億宝色 一宝色有五百億閻浮檀金光 一閻浮檀金光中 出五百億諸天宝女 一宝女住立樹下 執百億宝無數瓔珞 出妙音樂 時樂音中演説不退轉地法輪之行 其樹生果如頗黎色 一切衆色入頗梨色中 是諸光明右旋婉轉流出衆音 衆音演説大慈大悲法 一垣牆高六十二由旬厚十四由旬 五百億龍王圍繞此垣 一龍王兩五百億七宝行樹 莊嚴垣上 自然有風吹動此樹 樹相振觸 演説苦空無常無我諸波羅蜜 爾時此宮有一大神 名牢度跋提 即從座起遍礼十方仏 発弘誓願 若我福德応為弥勒菩薩造善法堂 令我額上自然出珠 既発願已額上自然出五百億宝珠 瑠璃頗梨一切衆色無不具足 如紫紺摩尼表裏映徹 此摩尼光廻旋空中 化為四十九重微妙宝宮 一欄楯万億梵摩尼宝所共合成 諸欄楯間自然化生九億天子五百億天女 一天子手中化生無量億万七宝蓮華 一蓮華上有無量億光 其光明中具諸樂器 如是天樂不鼓自鳴 此声出時 諸女自

然執衆樂器 競起歌舞 所詠歌音演說十善四弘誓願 諸天聞者皆
發無上道心 時諸園中有八色瑠璃渠 一一渠有五百億宝珠而用合
成一 一渠中有八味水 八色具足 其水上湧遊梁棟間 於四門外
化生四花 水出華中如宝花流 一一華上有二十四天女 身色微妙
如諸菩薩莊嚴身相 手中自然化五百億宝器 一一器中天諸甘露自
然盈滿 左肩荷佩無量瓔珞 右肩復負無量樂器 如雲住空從水而
出 讚歎菩薩六波羅蜜 若有往生兜率天上 自然得此天女侍御
亦有七宝大獅子座 高四由旬 閻浮檀金無量衆宝以為莊嚴 座四
角頭生四蓮華 一一蓮華百宝所成 一一宝出百億光明 其光微妙
化為五百億衆宝雜花莊嚴宝帳 時十方面百千梵王 各各持一梵天
妙宝 以為宝鈴懸宝帳上 時小梵王持天衆宝 以為羅網彌覆帳上
爾時百千無數天子天女眷屬 各持宝華以布座上 是諸蓮華自然皆
出五百億宝女 手執白扠侍立帳内持宮四角有四宝柱 一宝柱有百
千樓閣 梵摩尼珠以為絞絡 時諸閣間有百千天女 色妙無比手執
樂器 其樂音中演說苦空無常無我諸波羅蜜 如是天宮有百億万無
量宝色 一一諸女亦同宝色 爾時十方無量諸天命終 皆願往生兜
率天宮 時兜率天宮有五大神
第一大神名曰宝幢 身雨七宝散宮牆内 一一宝珠化成無量樂器
懸処空中不鼓自鳴 有無量音適衆生意 第二大神名曰花德 身雨
衆花彌覆宮牆化成花蓋 一一花蓋百千幢幡以為導引 第三大神名
曰香音 身毛孔中雨出微妙海此岸旃檀香 其香如雲作百宝色遶宮
七匝 第四大神名曰喜樂 雨如意珠 一一宝珠自然住在幢幡之上
顯說無量歸仏歸法歸比丘僧 及說五戒 無量善法諸波羅蜜 饒益
勸助菩提意者 第五大神名曰正音声 身諸毛孔流出衆水 一一水
上有五百億花 一一華上有二十五玉女 一一玉女身諸毛孔 出一

さいおんじょうしょうてんまぐしやうおんがく ぶつごう ばり しみやとそつ だてんじゅうぜんほうおうしやう
切音声勝天魔后所有音樂 仏告優波離 此名兜率陀天十善報心勝
みょうふくしよ になやく がじゅうせいちしやうこうちゆうこうぜいつししやう ぶしよ ぼさつほうおうざゆうじゅうぜん かしゃふのう
妙福処 若我住世一小劫中広説一生補処菩薩報心及十善果者不能
ぐうじん こんい にとりやくに げせつぶつごう ばり になやく びくざゆういつさいだいしゆ ぶえん
窮尽 今為汝等略而解説仏告優波離 若有比丘及一切大衆 不厭
しやうじ ぎやうしやうてんしや あいぎやう むじやう ぼだいしんしや よくい みろくさでししや どうさぜかん
生死樂生天者 愛敬無上菩提心者 欲為弥勒作弟子者 当作是觀
さぜ かんしやおうじ ごかいはつさいぐそくかいしんじんしやうじん ぶぐ だんけつしゆじゅうぜんほういちいちしゆい
作是觀者心持五戒八齋具足戒身心精進不求斷結修十善法一一思惟
とそつ だてんじやうじやうみやう けらく さぜ かんしやみやう いしやうかん になやく たかんしやみやう いじやかん
兜率陀天上上妙快樂 作是觀者名為正觀 若他觀者名為邪觀
にじじう ばりそくじゆうさき しょうえぶくずめん さいらい びやくぶつごん せそんとそつ だてん
爾時優波離即從座起 整衣服頭面作礼 白仏言 世尊兜率陀天
じやうないう によぜ ごくみやうらくじ こんしだいじ がじ おえん ぶだいまつしやう おひてん ぶつごうう
上乃有如是極妙樂事 今此大士何時於閻浮提没生於彼天 仏告優
ばり みろくせん おはら なこくこう はりそんは ばりだい ぼらもんけしやう きやくごじゆうにねん
波離弥勒先於波羅捺国劫波利村波婆利大婆羅門家生 却後十二年
にがつじゆうごにち げんほんじやうしよけつつかふざ によにゆうめつじやう しんしこんじきこうみやうえんかくによひやく
二月十五日 還本生処結跏趺坐如入滅定 身紫金色光明艷赫如百
せんにち じやうしとそつ だてん ごしんしやりによちゆうこんぞう ぶどうふ しょう しんえんこうちゆううしゆ
千日 上至兜率陀天 其身舍利如鑄金像不動不揺 身円光中有首
りやうごんさんまいはんじや ばらみつじぎへいねん じしよにんでんじんそくい きしゆほうみやうとうく しょうしや
楞嚴三昧般若波羅蜜字義炳然 時諸人天尋即為起衆宝妙塔供養舍
り じとそつ だてんしつぼうだいない まにでんじやうしししやうざ こつねんけしやう おれんげじやうけつ
利時兜率陀天七宝台内摩尼殿上獅子床座忽然化生 於蓮華上結
かふざ しんによえん ぶだんこんじきじやうじゅうろく ゆじゆん さんじゆうに そうはちじつしゆこうかいしつぐそく
跏趺坐 身如閻浮檀金色長十六由旬 三十二相八十種好皆悉具足
ちやうじやうにくけいほつこんるりしき しゃか びりやうがまに ひやくせんまんのくけんしゆくかほういこんてん
頂上肉髻髮紺瑠璃色 釈迦毘楞伽摩尼 百千万億甄叔迦宝以嚴天
かん ごてんほうかんう ひやくまんのかしき いちいつしきちゆうう ぶりやうひやくせんけ ぶつ しょけ ぼさつ
冠 其天寶冠有百万億色 一一色中有無量百千化仏 諸化菩薩以
いじしや ぶう たほうしよだい ぼさつ さじゆうはちへんずい いじざいじゆうてんかんちゆう みろくみ
為侍者 復有他方諸大菩薩 作十八變随意自在住天冠中 弥勒眉
けんう びやくごうそうこう るしゆつしゆこう さひやくほうしき さんじゆうに そういちいつそうちゆうう ごひやくおくほう
間有白毫相光 流出衆光作百宝色 三十二相一一相中有五百億宝
しき いちいちこうやくう ごひやくおくほうしき いちいつそうこうえんすいはちまんし せんこうみやううん よしよ
色 一一好亦有五百億宝色 一一相好艶出八万四千光明雲 与諸
てんじ かくざ けざ ちゆう やろくじじよせつ ぶ たいてんじ ほうりん しぎやう きやういち じちゆうじやうじゆご
天子各坐花座 昼夜六時常説不退轉地法輪之行 經一時中成就五
ひやくおくてんじ りやう ぶ たいてん おあのかた らさんみやくさん ぼだい によぜ しよとそつ だてんちゆう や
百億天子 令不退轉於阿耨多羅三藐三菩提 如是処兜率陀天昼夜
ごうせつ しほう どしよてんじ えん ぶ だいさいしゆ ごじゆうろくおくまんさい にない げしやう おえん ぶ
恒説此法 度諸天子 閻浮提歲數五十六億萬歲 爾乃下生於閻浮
だいに よみろく げしやうきやうせつ ぶつごう ばり ぜみやう みろく ぼさつ おえん ぶ だいまつしやうと
提 如弥勒下生經説 仏告優波離 是名弥勒菩薩於閻浮提没生兜
そつ だてんいんねん ぶつめつ どご がしよでし になやく うしやうごん しゆしよく どくい ぎふ けつそうとう
率陀天因縁 仏滅度後我諸弟子 若有精勤修諸功德威儀不欠掃塔
ずじ いしゆみやうこうみやう けく しょうぎやうしゆさんまいじんにつしやうじゆどくじゆきやうでん によぜ とうにんおう
塗地 以衆名香妙花供養行衆三昧深入正受讀誦經典 如是等人心

当至心 雖不斷結如得六通 应当繫念念仏形像称弥勒名 如是等
輩若一念頃受八戒齋 修諸淨業發弘誓願 命終之後譬如壯士屈申
臂頃 即得往生兜率陀天 於蓮華上結跏趺坐 百千天子作天伎樂
持天曼陀羅花摩訶曼陀羅華 以散其上讚言 善哉善哉善男子 汝
於閻浮提廣修福業來生此處 此處名兜率陀天 今此天主名曰弥勒
汝當歸依 心聲即礼礼已 諦觀眉間白毫相光 即得超越九十億劫
生死之罪 是時菩薩隨其宿緣為說妙法 令其堅固不退轉於無上道
心 如是等衆生若淨諸業行六事法 必定無疑當得生於兜率天上值
遇弥勒亦随弥勒下閻浮提第一聞法於未來世值遇賢劫一切諸仏於星
宿劫亦得值遇諸仏世尊於諸仏前受菩提記 仏告優波離 仏滅度後
比丘比丘尼優婆塞優婆夷 天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩
睺羅伽等 是諸大衆 若有得聞弥勒菩薩摩訶薩名者 聞已歡喜恭
敬礼拜 此人命終如彈指頃即得往生 如前無異 但得聞是弥勒名
者 命終亦不墮黑闇處 迦地邪見諸惡律儀 恒生正見眷屬成就不謗
三宝 仏告優波離 若善男子善女人 犯諸禁戒造衆惡業 聞是菩
薩大悲名字 五体投地誠心懺悔 是諸惡業速得清淨 未來世中諸
衆生等 聞是菩薩大悲名稱 造立形像香花衣服繪蓋幢幡礼拜繫念
此人命欲終時 弥勒菩薩放眉間白毫大人相光 与諸天子雨曼陀羅
花 來迎此人 此人須臾即得往生 值遇弥勒頭面礼敬 未举頭頃
便得聞法 即於無上道得不退轉 於未來世得值恒河沙等諸仏如來
仏告優波離 汝今諦聽 是弥勒菩薩於未來世當為衆生 作大歸依
処 若有歸依弥勒菩薩者 当知是人於無上道得不退轉 弥勒菩薩
成多陀阿伽度阿羅訶三藐三仏陀時 如此行人見仏光明即得授記
仏告優波離 仏滅度後四部弟子天龍鬼神 若有欲生兜率陀天者
当作是觀繫念思惟 念兜率陀天持仏禁戒 一日至七日 思念十善

行十善道 以此功德廻向願生弥勒前者 当作是觀 作是觀者 若
見一天人見一蓮華 若一念頃称弥勒名 此人除却千二百劫生死之
罪 但聞弥勒名合掌恭敬 此人除却五十劫生死之罪 若有敬礼弥
勒者 除却百億劫生死之罪 設不生天未來世中龍花菩提樹下亦得
值遇 發無上心

說是語時 無量大衆即從坐起 頂礼仏足礼弥勒足 遶仏及弥勒

菩薩百千匝 未得道者各發誓願 我等天人八部 今於仏前發誠實

誓願 於未來世值遇弥勒 捨此身已皆得上生兜率陀天 世尊記曰

汝等及未來世修福持戒 皆當往生弥勒菩薩前為弥勒菩薩之所授受

仏告優波離 作是觀者名為正觀 若他觀者名為邪觀

爾時尊者阿難即從座起 叉手長跪白仏言 世尊 善哉世尊 快

說弥勒所有功德 亦記未來世修福衆生所得果報 我今隨喜 唯然

世尊此法之要云何受持 當何名此經 仏告阿難 汝持仏語慎勿忘

失 為未來世開生天路示菩提相莫斷仏種 此經名弥勒菩薩般涅槃

亦名觀弥勒菩薩生兜率陀天勸發菩提心如受持 仏說是語時 他

方來会十萬菩薩 得首楞嚴三昧 八萬億諸天發菩提心 皆願隨從

弥勒下生 仏說是語時 四部弟子天龍八部 聞仏所說皆大歡喜礼

仏而退

仏說觀弥勒菩薩上生兜率天經